2026 年 11 月吉日

～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

◆VCN°29　カリーム・ヴィオネ

生産地方：ボジョレー

新着ワイン 1 種類♪

AC ボジョレー・ヴィラージュ カー・ヴェー 2021（赤）

2023 年 12 月に日本へ紹介したカー・ヴェーが、現地での 2 年半に及ぶカーヴ熟成を経て、まさに飲み頃を迎えた状態で今回再入荷された。2021 年は晩熟で気温も例年より涼しいオフヴィンテージだった一方、醸造はきわめて順調に進み、品質的には申し分のないヴィンテージだった。2 年の熟成を経たワインは、エレガンスとメリハリが調和し、今まさに飲み頃を迎えた落ち着きを備えている！前回リリース時よりも熟成により味わいがほどよくこなれ、同時に当時はジューシーな果実味の陰に隠れていた鉱物的なミネラルが前面に出始めている！味わいは立体的で複雑味もあり、今後 5 年はまだ十分に熟成に耐えるポテンシャルが感じられる。価格と品質とのバランスを考えると、贅沢過ぎるくらいコストパフォーマンスの高いお宝ワインだ！

ミレジム情報

2021 年は、日照量が乏しく天候の安定しないとても厳しい年だった。冬は例年並みで、久しぶりに畑に雪も積もった。ブドウが一斉に芽吹く 4 月上旬、フランス全土に渡り大規模な寒波が降りた。どの地域も霜による甚大な被害が及ぶ中で、ボジョレーは奇跡的にほとんど被害がなかった。その後は 5 月まで雨の多い不安定な天候が続いた。6 月の開花時は、ちょうど雨が止んでくれたおかげで花流れの被害はなく、ブドウの房も例年並みに付いた。これから本格的な夏が期待される中、6 月終わりから再び天気が崩れ始めた。7 月 3 日には雹が降りボジョレー・ヴィラージュの畑など一部が被害に遭った。その後も雨と気温の上がらない不安定な天候が続き、畑はミルデューと黒痘病の猛威に晒された。8 月の半ばから天候が回復し、病気の猛威も収まり、ようやくブドウの成熟にアクセルがかかったが、長引いた不安定な天候が大きく影響し、ブドウの成熟は最後までバラバラだった。

「ヨシ」のつ・ぶ・や・き

今回、3 年前にリリースしたカー・ヴェー2021 年が、「現地在庫がなくなり次第終了」となる特別価格で再入荷された！ことの経緯を遡ると、今年 4 月初めに有馬と共にカリームを訪問し、互いの近況を語り合っていた際、ふとカリームが抱えていた困りごとを打ち明けてくれたことがきっかけだった。

カリームによれば、現在のワインの販売状況は、パリをはじめとするフランス国内では順調だが、海外輸出はユーロ高もあり以前よりスローペースとのこと。その兆候はコロナ明けの 2023 年頃から少しずつ現れ始め、2025 年のトランプ政権発足以降、アメリカへの輸出はその傾向がさらに強まっているという。

スタンダード・キュヴェ KV（カー・ヴェー）について言えば、訪問当時、彼は 5 ヴィンテージを在庫として抱えていた。2021 年ヴィンテージがまだある中、リリース直後から味わいが開いていた 2022 年ヴィンテージを並行してリリースしたため、2022 年の販売は順調だったものの、2021 年が在庫として残ってしまった。当時、2021 年が倉庫スペースをかなり占めているため、タンクにある 2023 年以降のカー・ヴェーの瓶詰めができず、2023 年、2024 年、2025 年とタンクで保管されている状態だった。2026 年の収穫が始まる前に、何とか倉庫スペースを占める 2021 年の KV を販売し、2026 年のためにタンクを空けられないか、という点だった。

その悩みを聞いた我々は、まずは倉庫で眠っている KV2021 年の味わいを確かめたいと、その場で彼に頼んだ。ヴァンクゥールとしても、他国のインポーターと同様に、スタンダード・キュヴェである KV は毎年新しいヴィンテージを紹介できるのが理想であり、場合によりカリームのペースに合わせて複数年同じヴィンテージを買い続けることはあっても、バックヴィンテージを購入することはほとんどない。まして、昨今の円安で、数年前に今より安く仕入れられたヴィンテージを、現在の為替で買うことは自殺行為に等しい。

有馬と共に、ジャッジのハードルを上げ KV2021 年の試飲に臨んだ。これが正直驚くほど美味しかった！涼しいカーヴで 2 年半、瓶内でじっくり落ち着かせたワインだけあって、味わいにはこなれた落ち着きとまとまりがあり、特に早飲みワインでは誤魔化しの効かないテロワールから来るミネラル感が心地よかった。やはりジェネリックなスタンダードワインであっても、数年寝かせることでリリース時よりも美味しさが増すものがあることを、この時あらためて再確認させられた。

お互いの意見を率直にぶつけ合いながら話し合った結果、最終的にカリームは 2021 年ヴィンテージに限ることを条件に、長年応援してくれているヴァンクゥール向けに特別価格を提示してくれた。また、その後 6 月には小幡と新澤と共にカリームを再訪し、あらためて KV2021 年の味わいを確認した上で、最終的な合意に至った。



（写真①）日本の皆様、今回限りの特別価格のカー・ヴェー2021 を是非是非沢山飲んでください！感謝☆

ヴァンクゥールチーム皆で納得した超～お得な一本。カリームも喜んでいます！（写真①）事情はどうであれ、2 年半の瓶熟を経て理想的な飲み頃を迎えたワインが、今のこの物価高の状況で、この特別価格でリリースされることは、もう二度とないかもしれない。それほどコストパフォーマンスに優れた、抜群の赤ワインだ。現在は入荷したばかりでまだ在庫に余裕はあるものの、無くなり次第この特別価格は終了となるので、気軽に飲める家飲み用のストックとして、また飲食店であればグラスワインとして、ぜひともジャンジャン開けてほしい！さらに瓶熟させたい方には、5 年は優に寝かせられるポテンシャルも備えているので、用途に応じてさまざまに活用していただきたい。

（2026.4.3.＆6.17 ドメーヌ突撃訪問より）

※弊社ＨＰ「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ